

回 答 書

工事名：久井中学校長寿命化改修工事（建築主体工事）

	質 問 事 項	回 答
1	防水_撤去, 防水_改修 (参考数量書P8, P9 図面番号A-17, A-19) A-17改修前「レ工事」(階段室B_高架水槽基礎)撤去となっており, A-19改修後では高架水槽基礎新設(躯体・防水)となっていますが, 参考数量書P8でA-17躯体撤去並びにA-19の躯体(鉄筋・型枠・コンクリート・左官)の項目が計上されておられません。参考数量書P9で塗膜防水6.2m ² だけが計上されていますので, 高架水槽基礎は既存のままで塗膜防水だけが工事範囲と判断すれば宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。 高架水槽基礎既設のまま塗膜防水新設を見込んでいます。
2	防水_撤去, 防水_改修 (参考数量書P8, P9 図面番号A-03, A-10, A-11, A-18, A-19) 参考数量書P8, P9ではドレイン撤去・新設(鋳鉄製)となっておりますが, 上蓋だけを撤去するものとし, A-03, A-10, A-11, A-18, A-19「H工事」, 「L1工事」改修ドレイン(新設)を正と判断すれば宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
3	防水_改修 (参考数量書P9 図面番号 A-19) 床・立上り, 塗膜防水 2期工事屋根部, 高架水槽基礎部分 L4X 工法 X-2(6.2m ²)を計上してありますが, 1期屋上部の排気塔天端, 塗膜防水が計上されておられません。排気筒部分も L4X 工法 X-2 とする場合, 塗布形状の大きさをご指示ください。	1期屋上部の排気塔天端, 塗膜防水は「床・立上り、塗膜防水 L4X 工法 X-2」358 m ² に含まれています。

4	<p>防水_改修 (参考数量書 P9 図面番号 A-18)</p> <p>参考数量書 P9 でルーフトレイン新設(鋳鉄製)29 か所となっておりますが、2 階①通り⑤-⑦, ⑮-⑰間の屋根部分のトレイン改修 4 か所が含まれておりません。A-18 「H 工事」を正と判断すれば宜しいでしょうか。</p>	お見込みのとおりです。
5	<p>外壁_改修 (参考数量書 P10)</p> <p>参考数量書 P10 で既設面、高圧水洗の水圧は高圧水洗 (5~15MPa) にて旧塗膜面、モルタル面に付着している塵、ほこり、汚れなどを除去すると判断すれば宜しいでしょうか。</p>	お見込みのとおりです。
6	<p>外壁_改修 (参考数量書 P10 図面番号 A-04)</p> <p>参考数量書 P10, A-04 ④-5 外壁改修工事において③下地調整材の区分がされていません。外壁、1 期・3 期工事部分:可とう形複層塗材 E 吹付面の下地調整は下地調整塗材 E(合成樹脂エマルジョンフィラー吹付)を見込むと判断すれば宜しいでしょうか。</p>	1 期 3 期工事部分は A-04 を正とし、「可とう形改修塗材 E」としてご下さい。下地調整材も見込んでください。
7	<p>外壁_改修 (参考数量書 P10 図面番号 A-04)</p> <p>参考数量書 P10, A-04 ④-5 外壁改修工事において③下地調整材の区分がされていません。外壁、1 期工事部分:複層塗材 E 吹付面の下地調整は参考数量書 P31 アスベスト飛散防止剤散布面にあたりますが、建築改修工事標準仕様書 4.6.4(イ)モルタル面の下地調整(b)合成樹脂エマルジョンシーラーを全面に塗り付けると判断すれば宜しいでしょうか。</p>	お見込みのとおりです。
8	<p>内装_撤去 (図面番号 A-10, A-36)</p> <p>A-10 撤去工事では大便器及び設備配管等は設備工事となっております。A-36 の「い工事」500×800 の大きさでスラブ撤去がなされるものと判断すれば宜しいでしょうか。</p>	お見込みのとおりです。

9	<p>内装_撤去 (参考数量書 P15 図面番号 A-55)</p> <p>参考数量書 P15 でテレビ受台撤去 7 か所となっておりますが、A-55 で「ト工事」4 か所となっております。A-55 を正とし 4 か所撤去を見込むと判断すれば宜しいでしょうか。</p>	<p>普通教室 1 A, 2 A, 3 A もテレビ受台撤去を見込んでるため 7 か所としてください。(A-33)</p>
10	<p>内装_撤去 (参考数量書 P16 図面番号 A-25)</p> <p>参考数量書 P16 で煙突及び支持金物撤去 L=3600×120φ 1 か所となっておりますが、A-25 で A-46(調理室),A-53(被服室)が適用範囲となっております。A-25 を正とし 2 か所撤去を見込むと判断すれば宜しいでしょうか。</p>	<p>お見込みのとおりです。</p>
11	<p>内装_改修 (参考数量書 P17 図面番号 A-18,A-19)</p> <p>参考数量書 P17, A-18,A-19 で、「M1 工事」押え金物ステンレス製ノスリップとありますが仕様が不明です。A-33 のコーナー: ステンレスアングル押え 50×50 (HL)を正とするのか、既製品のステンレス製ノスリップ(ゴム入り)と判断するのをご指示ください。</p>	<p>既製品のステンレス製ノスリップ(ゴム入り)を見込んでください。</p>
12	<p>内装_改修 (参考数量書 P17 図面番号 A-14, A-55)</p> <p>参考数量書 P17, A-14 で穴あきシ合板張り t=6.0(寒冷紗無し)とありますが、A-55, A-57, A-58「F1 工事」では穴あきシ合板 t=5.5 寒冷紗張りとなり相違します。</p> <p>穴あきシ合板の厚み, 有孔ピッチ, 穴直径, 寒冷紗の有無は (基本) 有孔径 6mm / ピッチ 30mm, 合板 5.5mm × 3 × 6, 寒冷紗貼りと判断すれば宜しいでしょうか。</p>	<p>お見込みのとおりです。</p>
13	<p>内装_改修 (参考数量書 P18)</p> <p>参考数量書 P18 天井岩綿吸音板張り t=9.5 となっておりますが、メーカー仕様は岩綿吸音板 t=9.0 が標準となりますので t=9.0 に読み替えて宜しいでしょうか。</p>	<p>お見込みのとおりです。</p>

14	<p>内装_改修 (参考数量書 P16 図面番号 A-18)</p> <p>参考数量書 P16 煙突及び支持金物撤去に伴い、既設天井⑦有孔 PB=9.5(4 か所)、⑧化粧 PBt=9.5(4 か所)の天井材の補修が必要と思われますが参考数量書 P18 では計上されておりません。部分補修を見込むと判断すれば宜しいでしょうか。</p>	お見込みのとおりです。
15	<p>内装_改修 (参考数量書 P18)</p> <p>参考数量書 P18 内装薄塗材 E 吹付の下地調整は参考数量書 P33, アスベスト飛散防止剤散布面に下地調整塗材 E(合成樹脂エマルジョンシーラー)を見込むと判断すれば宜しいでしょうか。</p>	お見込みのとおりです。
16	<p>内装_改修 (参考数量書 P30 図面番号 A-36)</p> <p>参考数量書 P30 で「い工事」、大便器撤去跡コンクリート打ちとありますが、型枠、鉄筋、アンカー打ち等が計上されておりません。開口塞ぎ部分の仕様をご指示ください。</p>	新設する鉄筋は、D10@200 タテヨコとし、既存の鉄筋に重ね継手により定着してください。また、型枠も見込んでください。
17	<p>内装_改修 (図面番号 A-17, A-19, A-22)</p> <p>A-17 視聴覚室 「ニ工事」(スクリーン新設部天井ベニヤ撤去), 「ト工事」(テレビ台撤去)に伴い、⑨, 「X 工事」、既設天井下地組補修及び仕上ビニルクロス貼りに伴い、LGS 開口補強並びにベニヤt=4.0 の部分補修を見込むと判断すれば宜しいでしょうか。</p>	お見込みのとおりです。
18	<p>内装_改修 (図面番号 A-17, A-19)</p> <p>A-17 視聴覚室 「ト工事」(テレビ台撤去)に伴い、既設天井(吸音テックス)の補修を見込む場合、既存材料の入手不可能のため化粧石膏ボード(GB-NC)t=9.5 で補修すると判断すれば宜しいでしょうか。</p>	お見込みのとおりです。
19	<p>雑 (参考数量書 P18 図面番号 A-71)</p> <p>A-71⑩における壁収納扉 1 枚取替え(撤去・処分共)W1000×H1400 程度とありますが、建具仕様が不明です。ご教示ください。</p>	木製フラッシュ戸、ウレタンクリア塗装を見込んでください。

20	<p>雑（参考数量書 P12 図面番号 A-08）</p> <p>参考数量書 P18, A-08 で遮光カーテンが適用となっておりますが、レースカーテンは不要とし、参考数量書 P12 でカーテンレールが計上されておりましたがステンレス製カーテンレールシングルは既設を再利用するものと判断すれば宜しいでしょうか。</p>	お見込みのとおりです。
21	<p>雑（参考数量書 P18 図面番号 A-12）</p> <p>参考数量書 P18, A-12 で室名札が適用となっておりますが、仕様をご教示ください。</p>	アクリル製室名札 80×250mm 程度（既製品）を見込んでください。
22	<p>外壁_改修（図面番号 A-21）</p> <p>A-21, 北面 1 階車寄せ部木製格子天井部分の②吹付けタイル面は「J 工事」が適用となっておりますが、木製格子の一時撤去復旧が参考数量書では計上されておられません。木製格子を一時撤去して「J 工事」を行うと判断すれば宜しいでしょうか。</p>	お見込みのとおりです。
23	<p>外壁改修（参考数量書 P10, P19 図面番号 A-74, A-75, A-76）</p> <p>外壁改修の内訳書にはクラックの中のみ、モルタル浮きは摘要なしとなっているので工法がわかりません。外壁劣化工事特記仕様書には A-1 から F までの工法が記載されているので、特記仕様書の工法で教えて頂けますか。</p>	<p>次の工法を見込んでください。</p> <p>外壁クラック巾 0.5, 巾 0.45, 巾 0.4, 巾 0.35, 巾 0.30 : B-4</p> <p>外壁モルタル浮き : D-2</p> <p>外壁モルタル欠損 : E-3</p>
24	<p>外壁改修（図面番号 A-81）</p> <p>構造スリットレタゴムマット補修 45×500 ですが、仕様及び納まりが不明なのでご指示ください。</p>	既設同等品で撤去新設を見込んでください。
25	<p>外壁改修（参考数量書 P10 図面番号 A-04）</p> <p>内訳書 外壁, 複層塗材 E 吹付があります。特記仕様書には防水型複層塗材 E ゆず肌状とあります。防水型複層塗材 E が正でしょうか。また、ゆず肌は公共仕様書ではローラー仕上げになります。どちらが正でしょうかご指示ください。</p>	防水型複層塗材 E ゆず肌ローラー仕上げを正としてください。

26	<p>外壁改修（参考数量書 P10 図面番号 A-04）</p> <p>内訳書 外壁，可とう形複層塗材 E 吹付も特記仕様書にはゆず肌状とあります。ゆず肌はローラー仕上げと判断して宜しいでしょうか。</p>	<p>可とう形改修塗材 E ゆず肌ローラー仕上げを見込んでいます。</p>
27	<p>外壁改修（参考数量書 P20 図面番号 A-04, A-21, A-22）</p> <p>内訳書 外部塗装に CL 塗り(見上)があり，単位がmです。糸幅をご教示ください。</p>	<p>単位は，「m²」が正となります。</p>
28	<p>外壁改修（参考数量書 P20）</p> <p>内訳書 外部塗装に SOP 塗り細幅（302 m²）があります，単位がmの間違いではないでしょうか，またそうであれば糸幅をご教示ください。</p>	<p>単位は，「m」が正となります。</p> <p>塗装部は縦樋です。</p>
29	<p>環境配慮（参考数量書 P31, P33）</p> <p>アスベスト撤去外部（1,866 m²），内部（301 m²）の撤去範囲ですが，既設吹付タイル及びゾノライト吹付部の撤去と下地調整材を含めて撤去すると判断して宜しいでしょうか。</p>	<p>お見込みのとおりです。</p>
30	<p>環境配慮（図面番号 A-06）</p> <p>アスベスト含有建材の分析による調査ですが，箇所数が不明なのでご指示ください。</p>	<p>事前調査後，分析の可否について協議し，分析調査費用は，変更契約で対応します。</p>
31	<p>環境配慮（参考数量書 P31 図面番号 A-11）</p> <p>外壁について，工事仕様書ではアスベスト(レベル 3)として集塵装置付ディスクラインダークレソ工法同等工法とあり外部仕上表では隔離養生共とされていますが，内訳書にはセキユリフィルム設置及び負圧除塵装置も計上されています。これらも必要と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>お見込みのとおりです。</p>

32	<p>環境配慮（図面番号 A-06）</p> <p>石綿含有建材の調査について、工事着手までに書面及び目視調査を行うこと。また、含有建材の調査結果を発注者に対し説明を行うこととありますが、これは分析によるアスベスト含有建材の調査も含まれるのでしょうかご指示ください。</p>	<p>事前調査後、分析の可否について協議することとします。</p>
----	---	-----------------------------------